

【研究概要】

脳腫瘍と腰椎疾患の鑑別診断を要した片側下肢症状（ULLP）患者の治療経験につき報告する。70 歳代男性。来院の数年前から左下肢症状あり、脳検査で右頭頂葉傍正中矢状面腫瘍あり当院脳外科で右頭頂開頭脳腫瘍摘出術を施行し腫瘍全摘出し下肢症状改善し独歩退院。新たに左腰痛坐骨神経症状あり、頭蓋内は脳腫瘍関連所見なし。腰部脊柱管狭窄症診断のもと腰椎後方除圧術し、症状の改善を得た。ULLP 原因は多様で適切な診断と治療が有効。